

会務報告

第 22 回日本作業行動学会学術集会在 開催されました

第 22 回日本作業行動学会学術集会在平成 24 年 9 月 15 日(土)から 17 日(月・祝)まで、名古屋大学医学部保健学科(〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20)ほかで、原 和子大会長(愛知医療短期大学教授)、美和千尋副大会長(愛知医療短期大学教授)、横山 剛実行委員長(愛知医療短期大学准教授)のもとで開催されました。特別講演はイギリス・スコットランドのエジンバラにある Queen Margaret University の Kirsty Forsyth 教授で、「英国における OT の Professional Reasoning～専門理論としての人間作業モデル～」でした。なお、17 日(月・祝)には、学術集会の一環として、1 日評価法講習会評価編が山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)を講師にして愛知医療短期大学で実施されました。

第 22 回日本作業行動学会総会が開催されました

第 22 回日本作業行動学会総会が平成 24 年 9 月 15 日(土)16 時 50 分から 17 時半まで、名古屋大学医学部保健学科(〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20)で開催されました。第 1 号議案(平成 23 年度活動報告)、第 2 号議案(平成 23 年度決算)、第 3 号議案(平成 24 年度活動計画)、第 4 号議案(平成 24 年度予算)、第 5 号議案(①会則の改定、事務局の首都大学東京健康福祉学部への移転、②人間作業モデル認定セラピストの創設、③研究助成、④優秀論文)が承認されました。

なお、機関誌作業行動研究 16 巻 2 号の p153 の 4.<会員>を「会員数 751 名」に、p155 の 1.<総会>を「平成 24 年 9 月 15 日」に、4.<会員>を「会員数 779 名(平成 24 年 9 月 1 日現在)」に修正します。

事務局の移転

事務局長の移動に伴い、事務局を秋田大学医学部保健学科(秋田市本道 1-1-1)から、首都大学東京健康福祉学部(東京都荒川区東尾久 7-2-10)に移転します。詳しくはホームページをご参照ください。

人間作業モデル認定セラピストの創設

第 22 回総会で、会員の方からの提案で、人間作業モデル認定セラピストの創設が承認されました。具体的な条件は未定ですが、現時点では以下の条件が考慮されています。

- ①人間作業モデル講習会<理論と評価・編>を 2 回以上受講していること。うち 1 回は 1 日講習会評価編と治療編をあわせて受けていることでも可とする。
 - ②機関誌作業行動研究に事例報告の論文が掲載されていること
 - ③学術集会で事例演題を 2 編以上発表していること
- 条件については、さらに検討する予定ですので、会員の皆様のご意見を 2013 年 3 月 25 日までに e-mail objimu@jsrob.org にお寄せ下さい。

研究助成 2 件承認

ホームページで公募していました本年度の研究助成が締め切れ、2 件の応募がありました。

- ① 井口知也・ほか：認知症高齢者の絵カード評価法の有用性に関する研究。申請額 25 万円。
- ② 藪脇健司・ほか：慢性疼痛患者の健康関連 QOL に対する作業に焦点を当てた実践の検討。申請額 25 万円。

これら 2 件の応募を役員会で検討した結果、総会に提案することになり、22 回総会で承認されました。

昨年度の優秀論文

昨年度の優秀論文について、編集委員会で検討した結果、**研究論文**を西野由希子(東京工科大学医療保健学部作業療法学科)・山田孝(首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域)の「地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業適応と人間関係の変容プロセス」(第 15 巻第 3 号に掲載)、**事例報告**を早川 亮(医療法人ガラシア会ガラシア病院)、南 征吾(関西学研医療福祉学院)、河津 拓(関西学研医療福祉学院)、野藤弘幸(浜松大学保健医療学部作業療法学科)、山田 孝(首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域)の「作業に焦点をあてた介入により、終末期において作業参加が改善した事例」(第 15 巻第 1 号に掲載)を推薦することになり、第 22 回総会で承認されました。副賞は金 3 万円でした。

第23回日本作業行動学会学術集会是岡山で

第23回日本作業行動学会学術集会是、小林隆司先生(吉備国際大学)を大会長にして、岡山市で実施することになりました。

第23回日本作業行動学会学術集会(岡山)のご案内

第23回日本作業行動学会学術集会是を以下の通りに開催いたします。わが国のOccupation-Based Practiceを力強く推進するためのプログラムを企画しておりますので、ふるってご参加ください。

日程:2013(平成25)年9月14日(土)、15日(日)、一日講習会評価編;9月16日(月・祝)

会場:学術集会:岡山国際交流センター
(岡山市北区奉還町2-2-1),
ナイトセミナー:ピュアリティまきび
(岡山市北区下石井2-6-41)
一日評価法講習会;岡山県精神科医療センター
(岡山市北区鹿田本町3-16)

役員:

大会長:小林 隆司(吉備国際大学保健医療福祉学部・教授)

副大会長:八杉 基氏(岡山県精神科医療センターリハビリテーション部長)

実行委員長:藪脇 健司(吉備国際大学保健医療福祉学部・准教授)

学会テーマ:わが国のOBP最前線(The Forefront of Occupation-Based Practice in Japan)

プログラム概要:

学術集会

9月14日(土)

11:30~12:30 参加・演題受付

12:30~12:40 開会式

12:40~13:40 大会長講演

13:50~15:20 シンポジウム(OBP実践)

15:30~16:30 一般演題発表(ポスター)

16:45~17:30 総会

18:30~20:30 ナイトセミナー

9月15日(日)

8:50~9:20 参加・演題受付

9:20~10:50 公開事例検討会

11:00~12:30 一般演題発表(口述①) /
初學者向け企画

13:20~14:20 一般演題発表(口述②)

14:30~16:00 シンポジウム(OBP研究)

16:00~16:10

一日講習会評価編 9月16日(月・祝)

9:00~12:00 講習会

13:00~17:00 講習会(続き)

17:30~19:30 懇親会

参加申込:準備が整い次第、日本作業行動学会のウェブサイト(<http://www.jsrob.org/>)に案内を掲載しますので、確認してお申し込みください。

演題募集:応募期間;2013年6月3日(月)~8月15日(木)。発表形式;一般演題(口述・ポスター)、公開事例検討。

申込方法;詳細は学会ウェブサイト、作業行動研究をご確認ください

問い合わせ先:

第23回日本作業行動学会学術集会実行委員長

藪脇 健司

吉備国際大学保健医療福祉学部作業療法学科

TEL;0866-22-4044(学科代表)

E-mail;jobc2013@jsrob.org

人間作業モデル講習会が開催されました

<中国・岡山・一日講習会> 9月2日(日)に、人間作業モデル1日講習会評価実習編を岡山・地方独立行政法人岡山県精神科医療センター(岡山市北区鹿田本町3-16)で開催しました。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

<中部・岐阜・一日講習会> 9月8日(土)に、人間作業モデル1日講習会評価編を岐阜・平成医療専門学校(岐阜市黒野182)で開催しました。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

<中部・愛知・日本作業行動学会学術集会一日講習会> 9月17日(月・祝)に、日本作業行動学会第22回学術集会の一部として、人間作業モデル1日講習会評価実習編を愛知医療学院短期大学(清須市一場519)で開催しました。参加者は19名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)でした。

<中国・鳥取・一日講習会> 9月30日(日)に、人間作業モデル1日講習会評価実習編をYMCA米子医療福祉専門学校で開催しました。参加者は会員8名、非会員26名、学生7名の41名でした。講師は山田孝先生(目白大

学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、参加費は会員 5,000 円、非会員 7,000 円、学生 4,500 円でした。

<関東・東京> 10月6日(土)~7日(日)に、人間作業モデル講習会を専門学校社会医学技術学院(小金井市中町2-22-32)で開催しました。参加者は会員2名、非会員21名、学生3名、リピータ会員4名、非会員2名の合計32名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部講師)でした。両日参加の場合、会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

<関東・神奈川> 11月3日(土)~4日(日)に、人間作業モデル講習会を神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)で開催しました。参加者は会員7名、非会員32名、学生1名、リピータ会員2名の合計42名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学准教授)でした。両日参加の場合、会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

<近畿・奈良> 11月10日(土)~11日(日)に、人間作業モデル講習会を関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で開催しました。参加者は非会員25名、リピータ非会員3名、合計30名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と石井良和先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。両日参加の場合、会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

<九州・熊本・一日講習会> 11月23日(金・祝)に、人間作業モデル一日講習会を熊本保健科学大学(861-5598 熊本市和泉町325)で開催しました。参加者は会員2名、非会員26名、学生9名、合計37名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生3,500円でした。

<中部・静岡> 12月1日(土)~2日(日)に、人間作業モデル講習会を浜松市リハビリテーション病院(浜松市中区合和町1327-1)で開催しました。参加者は非会員8名、リピータ会員1名、非会員8名、学生1名、合計18名でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部講師)でした。両日参加の場合、会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

人間作業モデル事例検討会が開催されました

8月12日(日)に、**第25回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)で、13時30分から17時まで開催しました。参加者は20名(学生1名)で、発表者は牧山大輔先生(横浜新都市病院。演題名「家事活動が参加困難となったCVA患者に対するOT~OSAを使用して~」)でした。講師と世話人は笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学准教授)で、「MOHOを臨床使うコツ」の講義がありました。参加費は1,500円でした。

8月19日(日)に、**第28回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で、13時半から16時まで開催しました。参加者は18名で、発表者は銀山章代先生(四條畷学園大学。「デイケア通所中の統合失調症への人間作業モデル理論を用いたアプローチ」)と松本美穂子先生(滋賀県立成人病センター。「起きている時間をどう過ごしたらいいのかわからないと言った女性患者への作業療法」)でした。午前10時から12時まで山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)により「人間作業モデルのリーズニング表と基本概念」の講義が行われ、参加者は23名でした。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)でした。参加費はいずれも1,000円(学生500円)でした。

8月26日(日)に、**第15回浜松**を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市中区合和町1327-1)で、13時30分から17時まで開催しました。参加者は22名、学生2名の24名で、発表者は八木美香先生(浜松市リハビリテーション病院。「趣味再獲得により活動性が向上した事例」)でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、MOHOSTに関する講義がありました。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)で、参加費は3,000円(学生1,500円)でした。

9月9日(日)に、**第61回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で13時30分から17時まで開催しました。参加者は22名、学生2名の24名で、発表者は鈴木洋介先生(柳原リハビリテーション病院。「病人の役割を脱し、入院前に担っていた役割を再び遂行し始めた事例」)と藤田芽名先生(西武川越病院。「状況に合わせた認知症高齢者の周辺症状対策の一事例」)でした。講師は石井良和先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、ミニ講義は「システム論と世界像~MOHOを柔軟に理解する~」でした。世話人は小林法一先生と川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部)で、参加費は1,500円でした。

9月23日(日)に、**第23回九州**を、麻生リハビリテーション大学校(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、午前10時

から午後4時まで開催しました。参加者は43名で、発表者は豊嶋明日美先生(医療法人水の木会萩病院。

「MOHOの理論に基づいたアプローチ～自信の向上を目指して～」と齋木明日香先生(社会医療法人栄光会栄光病院。「主婦業の再獲得を目標として～人間作業モデルを通じた事例把握と介入の結果～」)でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、午後には山田先生により「人間作業モデルのリーズニング表と基本概念」の講義がありました。世話人は青山克美、近藤昭彦の両先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は2,000円でした。

9月29日(土)に、**第1回鳥取**を、米子東病院会議室(米子市淀江町佐陀2169)で、午後2時から6時まで開催しました。参加者は18名で、発表者は坂本一郎先生(医療法人賛幸会介護保健施設はまゆう。「作業の意味を考えさせられた事例」と次郎丸由香里先生(デイサービスセンターはほえみ。「役割を再獲得して休憩ができるようになった事例」)の2名でした。事例発表後に、山田先生により「人間作業モデルのリーズニング表と基本概念」の講義がありました。世話人は田中卓先生(医療法人養和会養和病院)で、参加費は500円でした。

10月7日(日)に、**第62回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町2-22-32)で、午後1時から4時まで開催しました。参加者は7名でした。内田健先生(江戸川病院。「独居復帰への道をリタイアしそうな脳梗塞の男性をゴールに導いた回復期OTの関わり」)でした。講師は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)講師で、参加費は1,500円でした。また、午前10時から、山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)による意志質問紙(VQ)の講義がありました。参加者は11名でした。参加費は3,000円で、世話人は樗木真実先生(専門学校社会医学技術学院)でした。

10月20日(土)に、**第8回旭川**を、北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で開催する予定でしたが、世話人の都合により中止しました。

10月28日(日)に、**第7回四国**を、香川県の四国医療専門学校(宇多津町)で、10時から16時まで開催しました。参加者は9名で、発表者は戸田裕美子先生(倉敷記念病院。「OTが食事介入を行ったことにより、意欲向上を認めた症例」)と藤江純平先生(松江総合医療専門学校。「生活歴を考慮した作業の実施により認知症高齢者の施設生活の安定に繋がった一例」)でした。講師の山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)により「作業遂行歴面接改訂版(OPHI-II)」のミニレクチャーがありました。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)で、参加費は1,500円でした。

11月4日(日)に、**第26回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)で、1時から16時まで開催しました。参加者は19名、学生11名、合計30名でした。発表者は近藤智先生(ふれあい平塚ホスピタル。

「OPHI-IIを用いたナラティブな視点における評価及び介入計画の立案」)と丸山祥先生(石和共立病院。「がん終末期にあるA氏との作業療法～協業により作業従事につながった事例～」)でした。講師は笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学准教授)で、役割の評価についての講義がありました。世話人は笹田哲先生、参加費は1,500円でした。

11月11日(日)に、**第29回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で、13時から16時まで開催しました。参加者は21名でした。発表者は井口知也先生(大阪保健医療大学。「脳出血を発症したうつ病を抱えるクライアントに対し環境のストレングスを活用させた復職への作業療法」)と三島綾奈先生(西宮協立リハビリテーション病院。「家事動作を通して自分の価値を取り戻した症例」)の2名でした。講師は石井良和先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。午前10時から12時まで石井良和先生の「OSA-IIの質問方法について」の講義がありました。世話人は大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)で、参加費はいずれも1,000円(学生500円)でした。

11月18日(日)に、**第63回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で開催しました。参加者13名で、発表者は石川彩先生(西武川越病院。「野菜作りという作業活動の環境を提供したことで受け身的な状態から自発的行動が現れ始めた事例」)でした。講師は石井良和先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、「語りと言語」のミニレクチャーがありました。世話人は小林法一先生と川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部)で、参加費は1,500円でした。

11月25日(日)に、**第24回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、午前10時から午後4時まで開催しました。参加者は28名でした。発表者は岩永拓也先生(財団法人水の木会萩病院。「統合失調症者に対するプログラム立案と経過報告」)でした。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)でOPHI-IIの講義がありました。世話人は青山克美、近藤昭彦、安部剛敏の各先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は2,000円でした。

12月2日(日)に、**第16回浜松**を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市中区和合町1327-1)で、10時30分から16時まで開催しました。参加者は9名で、発表者は鹿田将隆先生(社会福祉法人公友会デイサービスセン

ターしあわせ。「事例」と渥美香名子先生(ケアホームしあわせ。「高齢者版興味チェックリストから始まった症例とのかかわり」)でした。講師は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部講師)でした。午前中は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)によるOPHI-IIの講義がありました。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)で、参加費は3,000円(学生1,500円)でした。

人間作業モデル講習会を開催します

以下のように、人間作業モデル講習会を開催します。参加希望の方はホームページから学会事務局に申し込んで下さい。受講料は会員9,000円、非会員11,000円です。なお、これまでに受講されたことのある方はリピータ割引として3,000円引きで受講できます。

また、人間作業モデル1日講習会も開催されます。1日講習会は基礎コースとして評価法編とアドバンスコースとして治療編があります。通常は基礎・評価法編からアドバンス・治療編の順序で受講することをおすすめしますが、そうでなくとも受講できます。受講料は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。なお、値引きをしましたので、リピータ割引はなくなりました。

人間作業モデル講習会を自分の地域で開催を希望する方は、学会事務局までお知らせ下さい。事務局ではお申し出のあった方と関係者と協議して、講習会の開催を前向きに検討したいと思います。事務局のメールアドレスはobjim@jsrob.orgです。

<関東・東京一日講習会> 2012年12月23日(日)に、人間作業モデル1日講習会評価実習編を東京・首都大学東京(荒川区東尾久7-2-10)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

<東北・山形一日講習会> 2012年1月27日(日)に、人間作業モデル1日講習会評価実習編を山形県立保健医療大学(山形市上柳260)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

<関東・東京一日講習会> 2013年2月10日(日)に、人間作業モデル1日講習会評価法編を東京・首都大学東京(荒川区東尾久7-2-10)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

<関西・大阪講習会> 2013年3月2日(土)・3日(日)に、人間作業モデル講習会を大阪リハビリテーション大学で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部講師)の予定です。参加費は会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円です。

<北海道・札幌> 2013年4月13日(土)~14日(日)に、人間作業モデル講習会を北海道大学医学部保健学科(札幌市北区北12条西5丁目)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)と村田和香先生(北海道大学医学部保健学科教授)の予定です。両日参加の場合、会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円でした。

<東海・岐阜一日講習会> 2013年4月21日(日)に、人間作業モデル1日講習会治療編を岐阜・平成医療専門学校(岐阜市黒野182)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

人間作業モデル事例検討会が開催されます

12月16日(日)に、**第8回四国**を、香川県の穴吹リハビリテーションカレッジ(高松市上天神町722-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、興味、役割チェックリストの講義があります。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)と谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)の予定です。参加費は1,500円です。

2013年1月13日(日)に、**第64回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町2-22-32)で、午後1時から6時の予定で開催します。講師は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部講師)で、参加費は1,500円です。また、午前10時から、山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)による講義があります。参加費は3,000円です。世話人は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)と樗木真実先生(専門学校社会医学技術学院)です。

2013年1月20日(土)に、**第9回旭川**を、北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で13時半から18時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、OPHI-IIの講義があります。世話人は本家寿洋先生(北都保健福祉専門学校)で、参加費は1,500円です。

2013年2月3日(日)に、**第27回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定で、評価法の講義があります。世話人は笹田哲先生、参加費は1,500円です。

2013年2月17日(日)に、**第30回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京1-1-5)で、13時から16時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)、世話人は大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)の予定です。午前10時から12時まで講義があり、参加費はいずれも1,000円(学生500円)です。

2013年2月23日(土)に、**第1回岐阜**を岐阜・平成医療専門学校(岐阜市黒野182)で13時から18時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定で、ミニレクチャーがあります。参加費は1,500円の予定です。

2013年2月24日(日)に、**第17回浜松**を、浜松大学保健医療学部(浜松市北区都田町1230)で、10時30分から16時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定で、評価法の講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)で、参加費は3,000円(学生1,500円)です。

2013年3月10日(日)に、**第65回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)で、評価法の講習会があります。世話人は石井良和先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)、小林法一先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)、川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部助教)で、参加費は1,500円です。

2013年3月24日(日)、**第25回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、午前10時から午後4時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定です。午前中は山田先生による講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦、安部剛敏の各先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は2,000円です。

2013年4月20日(土)に、**第2回岐阜**を岐阜・平成医療専門学校(岐阜市黒野182)で13時から18時まで開催します。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)の予定で、ミニレクチャーがあります。参加費は1,500円の予定です。

このほかに、**北海道作業行動研究会**でMOHO事例検

討会を行っています。世話人・講師は村田和香先生(北海道大学大学院保健科学研究院教授)で、参加費は500円です。参加者は研究会に入会する必要があります(入会金1,000円)。日程はホームページをご覧ください。

研修会情報は研究会のホームページをご覧ください、詳細な情報を得て、ご参加下さい。

予 告

最近の**人間作業モデルのエビデンスを示す講演会**の開催を計画しています。香港ジャーナルOTに論文が掲載された篠原和也先生、日本公衆衛生学会雑誌に論文が掲載された川又寛徳先生などを講師として招いて、人間作業モデルに基づくプログラムのランダム化比較試験(RCT)という質の高いエビデンスに関する講演会を開催する予定にしています。詳細は次号でお知らせします。

予防的健康増進プログラム「65歳大学」講演会

3月16日と17日に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で、人間作業モデルを利用した予防的健康増進プログラム「65歳大学」の講演会を行います。内容は「65歳大学の概要」、「65歳大学のプログラム内容」、「65歳大学の効果判定の道具(評価法)」などです。講師は山田孝先生(目白大学大学院リハビリテーション学研究科教授)、小林法一先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)、川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部助教)の方々です。過去に1日以上MOHO講習会を受講した方のうち、興味のある方の参加をお待ちしています。

なお、参加費は無料で、旅費の支給を検討しています。また、希望者には開発者が使った教材を無料で差し上げます。

参加希望者は、首都大学東京健康福祉学部助教の川又寛徳までお願いします。

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

TEL : 03-3819-1211(代表) FAX : 03-3819-1406(代表)

mail : h-kawa@hs.tmu.ac.jp

氏名、住所、メールアドレス、MOHO講習会参加年月と場所をお知らせください。